

令和6年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	谷 愛 花
論 文 タ イ ト ル	女性の活躍推進に向けた実態と課題
要 旨	近年、人的資本の考えが広く浸透し、その開示方法が議論されている。そこで、本論文では開示に関する弊害のうち、ジェンダー問題に注目し、中でも女性の社会進出の重要性を求めるべく研究を行った。 仮説の検討を行った結果、女性比率の向上が企業利益に結びつくのではなく、女性比率の向上が企業利益の向上に直結しないことが分かった。また、仮定の検討の中で、「女性比率と企業利益の間にあるシナジー」が示唆され、これについて再検討を行った。結果、勤続年数格差や女性管理職比率など、特定の状態・条件を満たしている企業は、女性比率の向上による企業利益の向上が見られた。また、ジェンダー問題に広く取り組み、女性優位への転換ではなく男女という壁を取り払った企業程、シナジーと思われる条件を満たし、今後、利益が向上することが見込まれる。しかし、本論文で研究した条件等は、ごく一部の例に過ぎず、今後さらなる研究や観測が必要である。